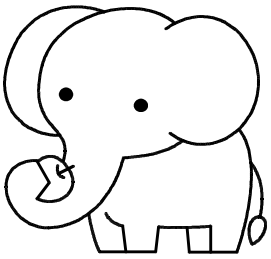
りょうかわ

学校だより　令和元年12月16日号　新潟市立両川小学校

童謡「ぞうさん」が伝える「自分への誇り」

校長　　中村　雅芳



ぞうさん　　ぞうさん
ぞうさん　　ぞうさん
おはなが　ながいのね　　だあれが　すきなの
そうよ　　あのね
かあさんも　ながいのよ　　かあさんが　すきなのよ

誰もが知っている，これまでに一度は歌ったことがある童謡「ぞうさん」です。１２月２日（月）の全校朝会で子どもたちに紹介し，この歌がどんなことを歌ったものかを尋ねました。数名の子どもたちから「お母さんが好きだという気持ち」「ぞうさんの鼻が長いということ」という答えをもらいました。全くその通りです。しかしながら，作詞者のまど・みちおさんは，もっと深い意味を込めたようです。

ぞうさんの子は，鼻がながいねと悪口を言われた時，しょげたり腹を立てたりする代わりに，一番好きな母さんも長いのよ，と誇りをもって答えた。だからこの歌は，ゾウに生まれてうれしいゾウの歌，と思われたがっているのでしょう。

まどさんはこのとき，「童謡はどんな受け取り方をされてもいいのだが，その歌が受け取ってもらいたがっているように受け取ってほしい」と前置きしたうえで，自分の考えとして，「『ぞうさん』の『おはながながいのね』という文句は，ゾウの立場からすれば悪口と受け取るのが当然」と言ったのです。相手からの悪口を自分の個性として誇りをもつ。このようなぞうさんの態度を真似てほしいと思い，私は次のように続けました。

普段生活しているときに，お友達からそのような悪口を言われて傷つくことはありませんか？言葉を発する時はもちろん，お友達の悪口などを言ってはいけません。これは基本中の基本です。しかし一方で，何を言われてもそれは自分の個性だと，象さんのように誇りをもって答えられる人でありたいものです。友達からの何気ない言葉に，悔しい思いや悲しい思いをしたときに「ぞうさん」の歌詞をぜひ思い出してください。

‥どの子どもにも自分に対する誇りをもち，力強く未来へ進んでいってほしいと心から願っています。４月から歩んできた９か月間を一人一人が振り返り，自分で自分を褒める年末としてください。みんなの頑張りの一端を，裏面に示します。

令和元年度　新潟市立両川小学校　各種大会・コンクール入賞者（４月～１２月）

※敬称略

●国語部門

○第 48 回新潟県課題図書読書感想文コンクール
優秀賞　２年　多田　蒼
優良賞　５年　多田　綸
佳　作　５年　樋口　風花

○第 65 回青少年読書感想文全国コンクール
佳　作　５年　熊倉　佑季

○「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール
入　選　３年　坂井　奏太

○「わたしのアイアイメッセージコンテスト」
文部科学大臣賞　５年　熊倉　佑季
奨励賞　５年　多田　綸

○「新大全国競書大会」
【硬筆の部】
準特選　３年　田浦　菜緒
５年　北上 あおば
【毛筆の部】
準特選　５年　熊倉　佑季

●理科部門

○「いきいきわくわく科学賞」
奨励賞　４年　杉山　遙

●体育部門

○新潟市小学校陸上競技記録会
【走り幅跳び】
５年男子の部入賞　吉田　流太
５年女子の部入賞　宮北　逢衣
６年男子の部入賞　才須　虹心
【１００Ｍ】
６年男子の部入賞　北上　英琉
６年女子の部入賞　佐久間 心晴

○新潟市小学校水泳競技記録会
【５０Ｍ平泳ぎ】
５年女子の部優勝　矢部 結衣香

●図画工作部門

○ MOA 美術館新潟児童作品展
MOA 美術館奨励賞　５年　多田　綸
（第３１回全国児童作品展 入選）
銅　賞　２年　多田　蒼

○第５５回新潟県中越教育美術展
特　選　５年　多田　綸
金　賞　１年　渡部　真緒
５年　佐久間 志織
銀　賞　１年　大野　颯音
大橋　瞳興
兼田　煌平
６年　青木 瑛太朗
池田 唯乃羽
佐久間 心晴
銅　賞　５年　石附　楓
兼田　和佳

○第５０回新潟県ジュニア美術展覧会
奨励賞　１年　遠藤　勇輝
田中　優菜
４年　杉山　遙

○第１６回新潟教育アート展
優秀賞　１年　山田　珠奈
奨励賞　２年　小出　崇晴

令和元年度 第６１回
新潟県よい歯の学校・園運動　優秀校

※「感動チャレンジ認定証」発行枚数１７０枚（12.16 現在）